

令和6年度 出資団体評価シート

1 基本情報

団体名	(公財) パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会	所管課	市) 文化振興課		
		記入者	担当	森本	電話 011-211-2261
基本財産	136,760千円	本市出資額	100,000千円 (出資割合 73.1%)		
設立年月日	平成14年(2002年) 4月1日	出資年月日	平成14年(2002年) 4月1日		
設立・出資目的	この法人は、パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌を通じて、世界最高水準のオーケストラ教育を実施するとともに、演奏会等の音楽の普及に関する事業を行うことにより、次代を担う若手音楽家を育成し、文化芸術の発展及び向上を図り、音楽を通じて世界平和に貢献することを目的とする。	沿革	平成2年	民間企業等が主体となり、第1回PMFを開催	
			平成3年	PMF組織委員会(任意団体)が主体となり、第2回PMFを開催	
			平成14年	(財) PMF組織委員会として認可	
			平成22年	(公財) PMF組織委員会へと移行	
代表者	理事長(非常勤) 秋元 克広(市長)				
主な出資者	① 札幌市 (73.1%)	② 野村証券 (7.3%)	③ 北海道 (3.7%)		
	④ トヨタ自動車 (2.2%)	⑤ 北海道新聞社 (2.2%)	⑥ パナソニック (2.2%)		
団体所在地	〒060-0052 札幌市中央区南2条東1丁目1-14 住友生命札幌中央ビル1階 電話 011-242-2211				

2 実施事業 (詳細については事業評価シート参照)

(1) [No.] [主要事業名] (該当ページ)	
[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	
① 教育事業 (6ページ)	② 演奏会事業 (7ページ)
世界最高水準のオーケストラ教育の実施により、次代を担う若手音楽家を育成し、文化芸術の発展及び向上を図り、音楽を通じて世界平和に貢献する。	世界最高水準の音楽家等による演奏会の開催により、優れた音楽演奏に接する機会を広く提供し、文化芸術の発展及び向上を図り、音楽を通じて世界平和に貢献する。
③ 音楽普及事業 (8ページ)	④
演奏技術及び音楽指導方法の向上を図り、優れた演奏に接する機会を提供することにより、音楽に対する理解を深め、文化芸術の発展及び向上を図る。	
⑤	⑥
⑦	⑧
(2) 総支出に占める事業支出割合 100.0% (主要事業支出合計 445,606千円 ÷ 総支出 445,606千円)	
(3) 主要事業の有効性 (出資・設立目的に対して事業効果は、十分出ているか)	
評価	☒ 十分出ている ☐ 高める余地あり ☐ 出していない
理由	国際教育音楽祭の実施を通じて、参加したアカデミーの育成を実践するとともに、年間延べ2万人前後の来場者が音楽に親しむ機会を提供することで、芸術文化の普及発展を図っていると認められるため。
(4) 主要事業の質・量 (出資・設立目的の達成のために、必要十分な事業が実施されているか)	
評価	☒ 実施されている ☐ 一部見直す必要がある ☐ 実施されていない
理由	国際教育音楽祭の実施を通じて、延べ約3,800人のアカデミー修了生を世界の主要なオーケストラ等に輩出しているほか、世界でも有数の音楽家であるPMF教授陣が加わった演奏会を行うことにより、質の高い音楽に触れる機会を市民に提供していると認められるため。

3 団体職員・構成員等

令和6年4月1日現在(単位:人)

	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数	プロパー職員の年齢構成				役員の任期	
役員						10歳代	0	40歳代	6	理事	2年
常勤理事	1	0	0	0	10	20歳代	0	50歳代	5	監事	4年
常勤監事	0	0	0	0		30歳代	3	60歳代	0	代表権のある役員の就任年月	
非常勤理事			7			平均年齢 45.8 歳				理事長	H28.6
非常勤監事			2							副理事長	R3.4
職員						職員総数の推移(人)					
常勤管理職	0	3	1	0	17	R04.4.1時点 16					
常勤一般職	0	0	13	0		R05.4.1時点 16					
非常勤職員			0								

4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区 分				R4年度決算	R5年度決算	(経常収益比)	(前年比)
財務状況	正味財産増減計算書	正味財産増減計算書	経常収益(a)	453,803	443,858	(100.0%)	(▲ 9,945)
			経常費用(b)	418,554	445,606		(+27,052)
			うち管理費等(c)	26,537	27,667	(6.2%)	(+1,130)
			うち人件費(d)	84,335	84,862	(19.1%)	(+527)
			当期経常増減額(e)	35,249	▲ 1,748		(▲ 36,997)
			当期正味財産増減額(f)	35,229	▲ 1,769		(▲ 36,998)
	貸借対照表	資産(g)	流動資産(h)	80,602	54,525		(▲ 26,077)
			固定資産(i)	280,147	291,434		(+11,287)
			うち基本財産(j)	136,760	136,760		(0)
			負債(k)	40,764	27,782		(▲ 12,982)
		流動負債(l)	流動負債(l)	40,764	27,782		(▲ 12,982)
			固定負債(m)	0	0		(0)
		正味財産(n)		319,985	318,177		(▲ 1,808)
		借入金残高(o)		0	0		(0)

R5年度決算の概要

区分	当期収入の増減、収支の状況、資産・負債の大幅な変動の要因等
a	国から市への補助金が前年度より減少したことに伴い、受取地方公共団体負担金が減額となったことによるもの。
b	新型コロナウイルス感染症の影響軽減及び5類移行により、事業規模を回復させたことによるもの。

※詳細は、別添の貸借対照表、正味財産増減計算書を参照。

5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区 分	R4年度決算	R5年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	300,504	278,621	(▲ 21,883)
市委託料	0	0	(0)
市業務委託料	0	0	(0)
うち随意契約	0	0	(0)
市指定管理費	0	0	(0)
うち非公募	0	0	(0)
(参考) 再委託額	0	0	(0)
うち市業務委託分	0	0	(0)
再委託率			(0)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高	0	0	(0)
損失補償等限度額	0	0	(0)
損失補償契約等に係る債務残高	0	0	(0)
(参考) 市施設利用料金収入	0	0	(0)
うち非公募	0	0	(0)

6 財務指標に基づく評価

(金額単位：千円)

項 目		R4年度	R5年度	(前年比)	評価基準	備 考
(1)健全性	剰余金(n-j)	183,225	181,417	(▲ 1,808)	前年比較増	正味財産-基本財産
	自己資本比率(n÷g)	88.7%	92.0%	(+3.3%)	≥50%	正味財産÷資産
	流動比率(h÷l)	197.7%	196.3%	(▲1.5%)	≥150%	流動資産÷流動負債
	固定比率(i÷n)	87.6%	91.6%	(+4.0%)	≤100%	固定資産÷正味財産
	借入金依存度(o÷g)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	借入金残高÷資産
(2)生産性	職員一人当り経常収益	28,363千円	27,741千円	(▲ 622千円)	前年比較増	経常収益÷職員総数
	人件費率(経常収益比)(d÷a)	18.6%	19.1%	(+0.5%)	前年比較減	人件費÷経常収益
	職員一人当り管理費	1,659千円	1,729千円	(+71千円)	前年比較減	管理費等÷職員総数
	管理費率(経常収益比)(c÷a)	5.8%	6.2%	(+0.4%)	前年比較減	管理費等÷経常収益
(3)自立性	市依存度(収入)	66.2%	62.8%	(▲3.4%)	前年比較減	市収入(注1)÷経常収益
	市財政的関与割合(収入)	66.2%	62.8%	(▲3.4%)	前年比較減	市収入(注2)÷経常収益
健全性の評価		☒ 非常に高い	☐ 高い	☐ 概ね健全	☐ やや低い	☐ 低い
理由	・剰余金は微減したが、自己資本比率、流動比率、固定比率はすべて良好な状態と判断するため。 ・生産性を示す指標は横ばいにとどまったが、収入の自立性は向上したため。					

(注1)市収入＝市補助金・交付金・負担金＋市業務委託料(随意契約分)＋市指定管理費(非公募分)＋市施設利用料金収入(非公募分)

(注2)市収入＝市補助金・交付金・負担金＋市業務委託料＋市指定管理費＋市施設利用料金収入

7 「札幌市出資団体の在り方に関する基本方針」に基づく具体的な行動計画の評価

ここでは、具体的な行動計画(※1)で示した取組目標について、年度ごとの指標(※2)の達成状況とその評価を行う。

※1詳細については具体的な行動計画(別冊子)を参照

※2指標の実績値は各年度末時点のもの

(1)出資・出捐

○取組目標		現状値 (R 2 年度)	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	備考	
No.	指標名						
○現状の出資比率を継続する							
①	市出資比率	目標		100, 000千円	100, 000千円	100, 000千円	
		実績	100, 000千円	100, 000千円	100, 000千円	100, 000千円	
		評価		達成	達成	達成	
②		目標					
		実績					
		評価					
未達成理由と今後の対応（R 5 年度の評価が未達成の場合のみ記載する）							
○総括評価							
	達成						
【取組結果】（「達成/未達成」の判断理由や、計画期間全体を通じた取組結果等を記載する。）							
計画期間中、札幌市からの出資金を増額することなく、PMF組織委員会の組織運営を継続しているため。							

(2) 人的関与

○取組目標		現状値 (R 2 年度)	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	備考
No.	指標名					
○必要な人的関与の維持						
①	市派遣職員数	目標		3 人	3 人	3 人
		実績	3 人	3 人	3 人	3 人
		評価		達成	達成	達成
②	市職員の理事就任数	目標		2 人	2 人	2 人
		実績	2 人	2 人	2 人	2 人
		評価		達成	達成	達成
未達成理由と今後の対応（R 5 年度の評価が未達成の場合のみ記載する）						
○総括評価						
	達成					
【取組結果】（「達成/未達成」の判断理由や、計画期間全体を通じた取組結果等を記載する。）						
PMFの実施にあたり公共性に考慮して事業を運営すべく、本市職員を派遣したり理事職に就くことが必要。その人数についても、必要最低限の適切な人数を継続しているため。						

(3) 団体の活用

○取組目標		現状値 (R 2 年度)	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	備考
No.	指標名					
○市民誰もが音楽に触れる機会とまちの賑わいの創出						
①	来場者数（札幌市内）	目標		4,500人	15,000人	18,000人
		実績	934人	7,855人	21,369人	20,561人
		評価		達成	達成	達成
②	アウトリーチコンサート開催数	目標		15回	15回	15回
		実績	13回	7回	15回	22回
		評価		未達成	達成	達成
未達成理由と今後の対応（R 5 年度の評価が未達成の場合のみ記載する）						
○総括評価						
	達成					
【取組結果】（「達成/未達成」の判断理由や、計画期間全体を通じた取組結果等を記載する。）						
コロナによって中止・縮小していたイベントを再開し、演奏会場内での感染症対策を行うことで、来場者数・演奏会数を増やすことができたため。						

(4) 更なる経営の安定化

○取組目標		現状値 (R 2 年度)	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	備考
No.	指標名					
○協賛企業の拡充や新たな方法による資金獲得を通じた経営の安定化						
①	協賛企業数	目標		80社	85社	90社
		実績	2 社	83社	87社	97社
		評価		達成	達成	達成
②	企業協賛金額	目標		70, 000千円	75, 000千円	80, 000千円
		実績	600千円	88, 180千円	88, 670千円	90, 049千円
		評価		達成	達成	達成
③	寄附金額	目標		5, 500千円	6, 000千円	6, 500千円
		実績	8, 886千円	7, 233千円	6, 820千円	9, 458千円
		評価		達成	達成	達成
④	新たな資金獲得手段の開拓	目標		検討	一部実施	実施
		実績	検討	検討	一部実施	実施
		評価		達成	達成	達成
未達成理由と今後の対応（R 5 年度の評価が未達成の場合のみ記載する）						
○総括評価						
達成						
【取組結果】（「達成/未達成」の判断理由や、計画期間全体を通じた取組結果等を記載する。）						
計画期間通じて企業への積極的な働きかけにより協賛社数・協賛金額を増やすことができたため。						

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○PMF組織委員会の事業体制の強化						
①	職員研修プログラム数	目標		6回	8回	10回
		実績	5回	6回	12回	11回
		評価		達成	達成	達成
②	危機管理体制のマニュアル化	目標		一部策定	策定	策定済
		実績	調査・研究	一部策定	策定	策定済
		評価		達成	達成	達成
未達成理由と今後の対応（R5年度の評価が未達成の場合のみ記載する）						
○総括評価						
達成						
【取組結果】（「達成/未達成」の判断理由や、計画期間全体を通じた取組結果等を記載する。）						
ウェブによる研修を積極的に活用するなど、職員の受講機会を確保したため。						

○取組目標		現状値 (R 2 年度)	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	備考	
No.	指標名						
○将来を担う創造性豊かな人材の育成・活用							
①	来場者数（北海道内）	目標		5,000人	16,000人	19,000人	
		実績	934人	8,341人	23,009人	22,193人	
		評価		達成	達成	達成	
②		目標					
		実績					
		評価					
未達成理由と今後の対応（R 5 年度の評価が未達成の場合のみ記載する）							
○総括評価							
達成							
【取組結果】（「達成/未達成」の判断理由や、計画期間全体を通じた取組結果等を記載する。）							
コロナによって中止・縮小していたイベントを再開し、演奏会場内での感染症対策を行うことで、来場者数・演奏会数を増やすことができたため。							

ホームページ公開情報		
ホームページアドレス	https://www.pmf.or.jp/	
Eメールアドレス		
【経営状況等】 ☒ 定款 ☒ 役員名簿 ☐ 団体機構図 ☒ 事業計画書 ☒ 予算書 ☒ 事業報告書 ☒ 決算書 ☐ 中長期的な経営計画		
【事業情報等】 ☒ 実施事業（イベント）情報 ☐ 管理施設情報 ☐ その他（ ）		
ホームページ以外の情報媒体		
広報誌・冊子の発行：PMF公式報告書		

－ 5 － (公財)パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会

事業評価 (1) 教育事業

1. 事業概要	事業所管課：市民文化局文化部文化振興課	担当：森本	電話：011-211-2261
(1)事業内容	オーディションにより世界各国から選抜した若手音楽家に対する世界最高水準のオーケストラ教育を中心とした教育の実施及びその成果の発表を行う。 【市の関連事業名】 パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業		市負担金 156,653
(2)事業目的	世界最高水準のオーケストラ教育の実施により、次代を担う若手音楽家を育成し、文化芸術の発展及び向上を図り、音楽を通じて世界平和に貢献する。		
(3)事業開始	平成3年(1991年)		

2. 実施結果

項目		R4年度	R5年度	(前年比)	
(1)事業収支 (単位 千円)	収入 (経常収益比)	200,926 (44.3 %)	204,369 (46.0 %)	(+3,443)	
	市補助金・交付金・負担金	154,911	156,653	(+1,742)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入(補助金除く)	0	0	(0)	
	その他収入	46,015	47,716	(+1,701)	
	費用(支出)	221,317	251,071	(+29,754)	
	事業費	208,579	237,791	(+29,212)	
	管理費等	12,738	13,280	(+542)	
収支差	▲ 20,391	▲ 46,702	(▲ 26,311)		
収支比率	90.79%	81.40%	(▲ 9.39%)		
(2)活動指標		R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	R6年度目標
①	オーディション受験者の出身国・地域数	68	-	62	-
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	R6年度目標
①	オーディション受験者数	1,090	-	1,123	-
②	オーディション合格者数	74	-	85	-
③	倍率(受験者数/合格者数)	14.7倍	-	13.2倍	-
④	PMF修了生の延べ人数	3,717	-	3,802	-
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は ☒ 十分出ている ☐ 高める余地あり ☐ 出していない
	【森本案】新型コロナウイルスの影響によりPMF2020(令和2年度)は中止、PMF2021(令和3年度)は国内関係者のみでの開催であったが、PMF2022(令和4年度)は海外からのアーティスト招へいを再開。令和5年度は、以前から実施していたPMFオーケストラ演奏会や、様々な編成での室内楽やリンクアップ・コンサートなどの多彩な活動を通じて、次代を担う若手音楽家を育成すると同時に、クラシック音楽を支える将来の聞き手を育み、音楽ファンを拡大させるという二つの大きな成果を獲得したものと判断する。なお、活動指標と成果指標にあっては、事業の性格上これに代わる指標の設定は困難だが、大学等関連機関・団体への周知等に最大限努めており、目標を設定した場合においても達成のための手段が特段存在しないことから、目標の設定は行っていない。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は ☐ 良好 ☒ 見直しの余地あり ☐ 要改善
	予算額以上の収入を確保してはいるが、協賛金収入の減少傾向や物価高等による事業経費の増加傾向が続いており、他事業との収入額の調整を行っていることから、収入増及び支出の節約に努めていく必要がある。

事業評価 (2) 演奏会事業

1. 事業概要	事業所管課： 市民文化局文化部文化振興課	担当： 森本	電話： 011-211-2261
(1)事業内容	PMFアカデミー生及び教授陣等による演奏会の開催 【市の関連事業名】 パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業		
(2)事業目的	世界最高水準の音楽家等による演奏会の開催により、優れた音楽演奏に接する機会を広く提供し、文化芸術の発展及び向上を図り、音楽を通じて世界平和に貢献する。		
(3)事業開始	平成3年(1991年)		

2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	R4年度	R5年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)	228,661 (50.4 %)	218,231 (49.2 %)	(▲ 10,430)	
	市補助金・交付金・負担金	131,676	111,759	(▲ 19,917)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入(補助金除く)	42,009	48,288	(+6,279)	
	その他収入	54,976	58,184	(+3,208)	
	費用(支出)	180,119	178,432	(▲ 1,687)	
	事業費	168,177	165,982	(▲ 2,195)	
	管理費等	11,942	12,450	(+508)	
	収支差	48,542	39,799	(▲ 8,743)	
	収支比率	126.95%	122.30%	(▲ 4.65%)	
(2)活動指標		R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	R6年度目標
①	公演数	25	25	27	25
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	R6年度目標
①	演奏会入場者数	13,322	15,000	17,206	18,000
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は ☒ 十分出ている ☐ 高める余地あり ☐ 出していない
	【森本案】 令和5年度は、新型コロナウイルスの影響により中止していた海外からのアーティスト招へいを再開し、従前と同じ方法で演奏会事業を実施することができている。演奏会入場者数も徐々に伸び、公演数も目標を超える数値となっていることから、札幌市民や観光客に優れた音楽演奏に触れる機会を幅広く提供するという目的は達成できたものと判断する。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は ☐ 良好 ☒ 見直しの余地あり ☐ 要改善
	予算額以上の収入を確保してはいるが、協賛金収入の減少傾向や物価高等による事業経費の増加傾向が続いており、収入増及び支出の節約に努めていく必要がある。

事業評価 (3) 音楽普及事業

1. 事業概要	事業所管課：市民文化局文化部文化振興課	担当：森本	電話：011-211-2261
(1)事業内容	1【リンクアップ・コンサート】アメリカ・ニューヨークのカーネギーホールの教育プログラムをもとに開発した札幌版の音楽教育プログラム。札幌市内小学生を対象に実施。 2【公開マスタークラス】PMF教授陣が北海道で音楽を学ぶ専攻生を楽器・編成別に直接指導し、その模様を一般に公開する公開マスタークラスを実施。 3【PMFクラシックLABO♪】初心者にもわかりやすくクラシック音楽の魅力を伝える講座。 4【オープンリハーサル】PMFオーケストラのリハーサルやゲネプロを一般に公開するプログラム。 【市の関連事業名】 パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業		市負担金 10,209
(2)事業目的	演奏技術及び音楽指導方法の向上を図り、優れた演奏に接する機会を提供することにより、音楽に対する理解を深め、文化芸術の発展及び向上を図る。		
(3)事業開始	平成3年(1991年)		

2. 実施結果

2. 実施結果

(1)事業収支 (単位:千円)	項目	R4年度	R5年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)	23,593 (5.2 %)	20,643 (4.7 %)	(▲ 2,950)	
	市補助金・交付金・負担金	13,917	10,209	(▲ 3,708)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入(補助金除く)	2,829	3,105	(+276)	
	その他収入	6,847	7,329	(+482)	
	費用(支出)	17,120	16,103	(▲ 1,017)	
	事業費	15,262	14,166	(▲ 1,096)	
管理費等	1,858	1,937	(+79)		
収支差	6,473	4,540	(▲ 1,933)		
収支比率	137.81%	128.19%	(▲ 9.62%)		
(2)活動指標		R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	R6年度目標
①	オープンリハーサル開催数	5	5	5	4
②	PMFクラシックLABO開催数	2	2	2	2
③	リンクアップ・コンサート開催数	1	1	1	1
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	R6年度目標
①	オープンリハーサル来場者数	332	300	448	500
②	PMFクラシックLABO来場者数	333	400	267	100
③	リンクアップ・コンサート参加者数	578	700	662	700
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は ☒ 十分出ている ☐ 高める余地あり ☐ 出していない
	【森本案】令和5年度は、新型コロナウイルスの影響により中止していた海外からのアーティスト招へいを再開し、従前と同様に事業を実施することができている。音楽普及事業に係る来場者数は概ね目標どおりの人数を確保しており、子ども向け事業をはじめとして今後も力を入れることが望ましいと考えている。また、公演数も目標を超える数値となっていることから、札幌市民や観光客に優れた音楽演奏に触れる機会を幅広く提供するという目的は達成できたものと判断する。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は ☐ 良好 ☒ 見直しの余地あり ☐ 要改善
	予算額以上の収入を確保してはいるが、協賛金収入の減少傾向や物価高等による事業経費の増加傾向が続いており、収入増及び支出の節約に努めていく必要がある。

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	47,937,593	76,135,100	△ 28,197,507
未収金	186,320	148,400	37,920
前払金	4,189,999	2,160,210	2,029,789
貯蔵品	1,726,701	1,797,994	△ 71,293
商品	398,898	335,559	63,339
立替金	69,640	0	69,640
仮払金	15,660	25,130	△ 9,470
流動資産合計	54,524,811	80,602,393	△ 26,077,582
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	129,056,330	129,056,330	0
普通預金	7,703,670	7,703,670	0
基本財産合計	136,760,000	136,760,000	0
(2) 特定資産			
教育・演奏会事業安定積立金	81,000,000	81,000,000	0
周年事業等特定費用準備資金積立金 (40回記念事業)	53,000,000	50,000,000	3,000,000
周年事業等特定費用準備資金積立金 (ミナミナコンサート事業)	10,000,000	0	10,000,000
次年度事業特定預金	4,817,000	4,857,500	△ 40,500
特定資産合計	148,817,000	135,857,500	12,959,500
(3) その他固定資産			
建物	172,728	185,396	△ 12,668
什器備品	992,111	806,020	186,091
電話加入権	25,077	25,077	0
ソフトウェア	4,666,934	6,513,467	△ 1,846,533
その他固定資産合計	5,856,850	7,529,960	△ 1,673,110
固定資産合計	291,433,850	280,147,460	11,286,390
資産合計	345,958,661	360,749,853	△ 14,791,192
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	5,061,173	5,993,299	△ 932,126
前受金	17,669,000	20,635,000	△ 2,966,000
預り金	134,425	188,824	△ 54,399
未払法人税等	20,000	20,000	0
未払消費税等	4,897,100	13,926,500	△ 9,029,400
流動負債合計	27,781,698	40,763,623	△ 12,981,925
負債合計	27,781,698	40,763,623	△ 12,981,925
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金（次年度事業特定預金）	4,817,000	4,857,500	△ 40,500
寄付金（基本財産）	136,760,000	136,760,000	0
指定正味財産合計	141,577,000	141,617,500	△ 40,500
（うち基本財産への充当額）	（ 136,760,000 ）	（ 136,760,000 ）	（ 0 ）
（うち特定資産への充当額）	（ 4,817,000 ）	（ 4,857,500 ）	（ △ 40,500 ）
2. 一般正味財産	176,599,963	178,368,730	△ 1,768,767
（うち特定資産への充当額）	（ 144,000,000 ）	（ 131,000,000 ）	（ 13,000,000 ）
正味財産合計	318,176,963	319,986,230	△ 1,809,267
負債及び正味財産合計	345,958,661	360,749,853	△ 14,791,192

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	479,400	496,671	△ 17,271
基本財産受取利息	479,400	496,671	△ 17,271
特定資産運用益	126,560	126,240	320
特定資産受取利息	126,560	126,240	320
受取会費	3,018,000	2,781,000	237,000
賛助会員受取会費	3,018,000	2,781,000	237,000
事業収益	51,392,440	44,838,040	6,554,400
演奏会チケット収益	40,494,600	35,228,900	5,265,700
その他演奏会収益	500,000	500,000	0
公演契約料収益	9,996,740	8,529,940	1,466,800
普及事業参加料収益	401,100	579,200	△ 178,100
受取補助金等	6,650,000	6,200,000	450,000
受取地方公共団体補助金	2,700,000	2,700,000	0
受取民間助成金	3,950,000	3,500,000	450,000
受取負担金等	278,621,000	300,504,000	△ 21,883,000
受取地方公共団体負担金	278,621,000	300,504,000	△ 21,883,000
受取協賛金	90,049,240	88,670,000	1,379,240
受取協賛金	85,749,240	84,370,000	1,379,240
受取公演協賛金	4,300,000	4,300,000	0
受取寄付金	9,457,765	6,820,000	2,637,765
受取寄付金	4,600,265	5,328,000	△ 727,735
受取寄付金振替額	4,857,500	1,492,000	3,365,500
雑収益	4,053,222	3,367,494	685,728
受取利息	3	0	3
雑収益	4,053,219	3,367,494	685,725
為替差益	9,903	0	9,903
為替差益	9,903	0	9,903
経常収益計	443,857,530	453,803,445	△ 9,945,915
(2) 経常費用			
事業費	417,938,868	392,017,179	25,921,689
1 人件費	77,087,358	73,608,689	3,478,669
2 アーティスト報酬	89,022,751	70,992,770	18,029,981
3 アーティスト旅費交通費・滞在費	40,285,317	44,038,946	△ 3,753,629
4 アカデミー旅費交通費・滞在費	61,842,672	41,154,060	20,688,612
5 その他事業費	149,700,770	162,222,714	△ 12,521,944
管理費	27,667,426	26,537,040	1,130,386
1 人件費	19,721,940	17,926,415	1,795,525
2 その他管理費	7,945,486	8,610,625	△ 665,139
経常費用計	445,606,294	418,554,219	27,052,075
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,748,764	35,249,226	△ 36,997,990
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,748,764	35,249,226	△ 36,997,990

科 目	当年度	前年度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	3	2	1
什器備品除却損	3	2	1
経常外費用計	3	2	1
当期経常外増減額	△ 3	△ 2	△ 1
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,748,767	35,249,224	△ 36,997,991
法人税、住民税及び事業税	20,000	20,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,768,767	35,229,224	△ 36,997,991
一般正味財産期首残高	178,368,730	143,139,506	35,229,224
一般正味財産期末残高	176,599,963	178,368,730	△ 1,768,767
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	479,400	496,671	△ 17,271
基本財産受取利息	479,400	496,671	△ 17,271
受取寄付金	4,817,000	4,857,500	△ 40,500
受取寄付金	4,817,000	4,857,500	△ 40,500
一般正味財産への振替額	△ 5,336,900	△ 1,988,671	△ 3,348,229
当期指定正味財産増減額	△ 40,500	3,365,500	△ 3,406,000
指定正味財産期首残高	141,617,500	138,252,000	3,365,500
指定正味財産期末残高	141,577,000	141,617,500	△ 40,500
III 正味財産期末残高	318,176,963	319,986,230	△ 1,809,267